

旧暦では5月を、田植えの時期であることから早苗月ともいいます。英語ではMayですが、これはローマ神話の豊穡の女神マイアスを語源としているそうです。日本・西洋ともに、5月が農業に関連しているのは興味深いですね。



## お花見に行きました

4月の中旬頃より、各部門ごとにお花見に行ってきました。  
各部門とも見頃の桜を利用者の皆さんに見ていただきました。



**入所部門**  
利用者の皆さんに  
久しぶりの外出を  
満喫していただき  
ました。



**通所部門**  
出店での買い物を楽し  
んでいただきました。



恒例のよさこいを披露しました。



**グループホーム**  
地面いっぱいの  
桜の花びらが  
きれいですね。  
皆さんの笑顔も  
素敵です。





# 麻疹(はしか)の感染拡大に警戒 ～大型連休にお出かけの際にはご注意ください。～



沖縄県で流行しているはしかが、国内の他の地域に拡大する恐れが高まっているとして、国立感染症研究所は、必要な人はワクチンの接種を検討して欲しいと異例の呼びかけをしています。国立感染症研究所によりますと、はしかはワクチンを2回接種することで確実に免疫ができるとされています。平成2年4月以降に生まれた方は2回定期接種を受けていますが、昭和47年10月以降平成2年3月までに生まれた方は1回だったということです。また**昭和47年9月以前に生まれた方は、ワクチンの定期接種はなかったため、自ら接種を受けたことがなく、感染したこともなければ免疫がない**ということになります。海外旅行などで感染するケースが多く、感染力が非常に強いため、大型連休の旅行などは注意が必要です。

## 【症状】

麻疹ウイルスに感染後、10日から12日の潜伏期間を経て、発熱、咳などを伴い発症します。38度前後の発熱が2～4日間続き、倦怠感、咳・鼻水などの上気道の炎症症状、結膜炎症状が続きます。この段階で特徴となる「コップリック斑」(口腔内の頬の裏側に白色の小さな斑点)が現れます。その後、再び発熱するとともに鮮紅色の発疹が体表全体に現れ、発疹・発熱や上気道の症状、結膜炎はひどくなりますが、これらの状態が3～4日続いた後解熱し、症状は軽快していきます。

乳幼児がかかりやすい病気ですが、成人もかかることがありますので、疑わしい症状が出た場合には早めに医療機関で受診しましょう。

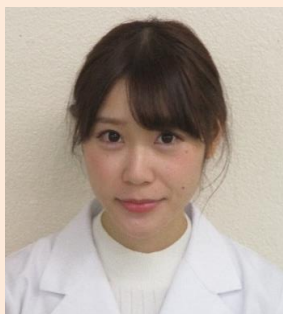


**ご不明な点やその他お体に関するお悩み等がございましたら、お気軽にご相談ください。**

**【さくらのクリニック】 ☎0285-37-1121**



## 歯科口腔外科に新しい先生が着任しました！



初めまして。4月から歯科で担当します**亀山亜美**です。出身は神戸で、大学は新潟で6年間いました。趣味はスノーボードと料理作りです。栃木のことはまだまだ分かりませんので、みなさん是非教えて下さい。これから頑張りますので、よろしくお願ひします。



**口腔内に関するお悩み等がございましたら、お気軽にご相談ください。**

**【さくらのクリニック歯科・口腔外科】 ☎0285-37-1161**



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島244番地1

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

http://www.sakura-ac.com

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・戸澤

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢

さくら会 携帯サイト

